

香川高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	表現コミュニケーション I
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	1111		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	情報工学科 (2019年度以降入学者)		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	それぞれの担当教員が準備する教材を使用する。				
担当教員	山岡 健次郎,内田 由理子,畑 伸興,森 和憲,石丸 健,長谷川 隆,森 あかね				
<b>到達目標</b>					
人文系科目 (国語、英語、社会) の内容言語統合型授業を行うことで、歴史や異文化に対する教養の涵養と、コミュニケーションに必要な4つのスキル (読む、書く、聞く、話す) の全体的な向上と豊かな表現力の育成を図る。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 聞く能力	論理立てた日本語や簡単な英語の文章を聞き、その内容を把握できる。	日本語や英語のまとまった文章を聞き、その内容を把握できる。	日本語や英語のまとまった文章を聞いても、その内容を把握できない。		
評価項目2 読む能力	目的に応じて、自主的に印刷物、インターネットから適切な情報 (英語を含む) を収集できる。	教員の指示により、印刷物、インターネットから適切な情報 (英語を含む) を収集できる。	教員から提供された印刷物、インターネットから適切な情報を収集できない。		
評価項目3 書く能力	自分の考えを論理立てて日本語で書くことができる。また、簡単な英語の文章を書くことができる。	教員の補助があれば、自分の考えを論理立てて日本語で書くことができる。また、簡単な英語の文章を書くことができる。	自分の考えを論理立てて日本語で書くことができない。また、簡単な英語の文章を書くことができない。		
評価項目3 話す能力	調べたことに関して、論理立てて話すことができる。また、自分の意見を簡単な英語で話すことができる。	調べたことに関して、日本語または英語を用いて簡単に説明ができる。	調べたことに関して、日本語または英語を用いて簡単に説明ができない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	国語、英語、社会の人文系科目の内容統合型授業を行う。チームを組んで歴史的事象、文化財を「もの」もしくは「デジタル」で再現し、それを日本語と英語の両方でプレゼンテーションすることにより、歴史や異文化に対する教養を身につけ、さらに、コミュニケーション能力の全体的な向上を目指す。				
授業の進め方・方法	1年を3等分して、以下の授業を行う。1) 社会：チームを組んで、歴史的事象、文化財を「もの」もしくは「デジタル」で再現する。2) 国語：模型を説明するスライドと日本語原稿を作成する。効果的なプレゼンテーションを行うための技法を学ぶ。3) 英語：国語の授業で作成したプレゼンテーションスライドと原稿を英語で再度プレゼンテーションする。そのための翻訳方法を学ぶ。				
注意点					
<b>授業計画</b>					
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標	
		1週	ガイダンス, チームビルディング	学習内容及び到達目標を理解し、取り組む課題を設定できる。 B1-3	
		2週	計画立案と情報収集 (グループワーク)	グループで議論しながら目標達成のための計画を立て、異文化に触れながら様々なレベルの情報を収集する (学習・調査等) ことができる。 B1-3	
		3週	計画立案と情報収集 (グループワーク)	グループで議論しながら目標達成のための計画を立て、異文化に触れながら様々なレベルの情報を収集する (学習・調査等) ことができる。 B1-3	
		4週	制作, 分析, 検証 (グループワーク)	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3	
		5週	制作, 分析, 検証 (グループワーク)	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3	
		6週	制作, 分析, 検証 (グループワーク)	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3	
		7週	制作, 分析, 検証 (グループワーク)	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3	
	8週	制作, 分析, 検証 (グループワーク)	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3		
	2ndQ	9週	制作, 分析, 検証 (グループワーク)	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3	
		10週	制作, 分析, 検証 (グループワーク)	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3	
		11週	プレゼンテーション演習 (プレゼンの基礎を学ぶ・プレゼン資料の製作)	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3	
12週		プレゼンテーション演習 (プレゼンの基礎を学ぶ・プレゼン資料の製作)	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3		

		13週	プレゼンテーション演習（プレゼンの基礎を学ぶ・プレゼン資料の製作）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		14週	プレゼンテーション演習（プレゼンの基礎を学ぶ・プレゼン資料の製作）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		15週	プレゼンテーション演習（プレゼンの基礎を学ぶ・プレゼン資料の製作）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		16週	成績確認	内容の理解度を確認する。
後期	3rdQ	1週	プレゼンテーション演習（発表練習）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		2週	発表会 1	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		3週	発表会 2	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		4週	発表会 3	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		5週	発表会 4	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		6週	計画立案 英作文指導	グループで議論しながら目標達成のための計画を立て、異文化に触れながら様々なレベルの情報を収集する（学習・調査等）ことができる。 B1-3
		7週	英作文指導	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		8週	制作、分析、検証（グループワーク）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
	4thQ	9週	制作、分析、検証（グループワーク）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		10週	制作、分析、検証（グループワーク）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		11週	制作、分析、検証（グループワーク）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		12週	発表会 1	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		13週	発表会 2	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		14週	発表会 3	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		15週	発表会 4	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 B1-3
		16週	成績確認	内容の理解度を確認する。

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
		英語運用能力の基礎固め	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2		
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2		
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2		
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2		

			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	
		英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	80	0	0	20	0	100
基礎的能力	0	80	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0